



みのぶ 社協だより

2025 夏号 Vol.41

令和7年8月29日発行

社会福祉法人 身延町社会福祉協議会

〒409-2523 南巨摩郡身延町波木井 272-1

TEL 0556-62-3773

FAX 0556-62-3777

<https://minobushakyo.jp/>



会長就任 挨拶



身延町社会福祉協議会
会長 深沢 道康

日頃より町民の皆さまには、身延町社協の各事業の活動に多大なご支援ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

5月・6月の理事会、評議員会にて6年度の事業報告、収支決算が承認されましたが、昨年、国の訪問介護報酬改定や介護ヘルパーさんの高齢化に伴う離職により、事業経営維持に影響があり、7年度からは経営が厳しい状況下になるのではないかと懸念しています。

こうした状況を踏まえるなか、一時期たりとも、高齢者や在宅介護者の皆様の支援を滞ることはできないと考えております。

また、身延町社協は7年度の基本方針として「助け合い、心のふれあうひらかれた町をつくる」そして基本目標の「支え合いの地域福祉活動」「安心して暮らせる福祉の環境を整備する」等、地域福祉活動においても停滞することなく、役員、社協全職員が志を一つにして、町民の皆さまの信頼とご期待に応えるため、福祉の向上に努めて参ります。

今後とも皆様のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

役員紹介

役員改選により、次の方々が選任されました。(敬称略)

役 職	氏 名	選出区分	役 職	氏 名	選出区分
会 長	深沢 道康 (上田原)	地域住民	評議員	矢野 博文 (三澤)	地域住民
副会長	上田 本幸 (下山)	民生委員	〃	磯野 祥子 (岩欠)	地域住民
〃	深沢 拓 (手打沢)	地域住民	〃	若林 栄樹 (下田原)	地域住民
理 事	遠藤 一夫 (上之平)	地域住民	〃	堀井美栄子 (飯富)	地域住民
〃	佐野みちる (西嶋)	地域住民	〃	藤田かをる (波木井)	地域住民
〃	柿島 利巳 (門野)	地域住民	〃	佐野 利幸 (身延)	地域住民
〃	松山 京介 (下山)	地域住民	〃	二宮 寛美 (車田)	民生委員
〃	小林 正雄 (八日市場)	民生委員	〃	伊藤モト子 (中之倉)	民生委員
〃	依田 茂 (常葉)	民生委員	〃	望月 和文 (西嶋)	民生委員
〃	花塚 健次 (小田船原)	福祉団体	〃	松本眞佐子 (飯富)	民生委員
〃	内田 元樹 (常葉)	民間施設	〃	遠藤みゆき (下山)	民生委員
〃	佐野 一雄 (梅平)	民間施設	〃	山内 寛久 (大島)	民生委員
〃	松田 宜親 (切石)	行政代表	〃	小林 映子 (小田船原)	福祉団体
監 事	赤池 義明 (西嶋)		〃	名取 雅夫 (切石)	行政代表
〃	笠井 祥一 (西嶋)				

「みのぶ社協だより」は皆様の共同募金の一部で発行しています。



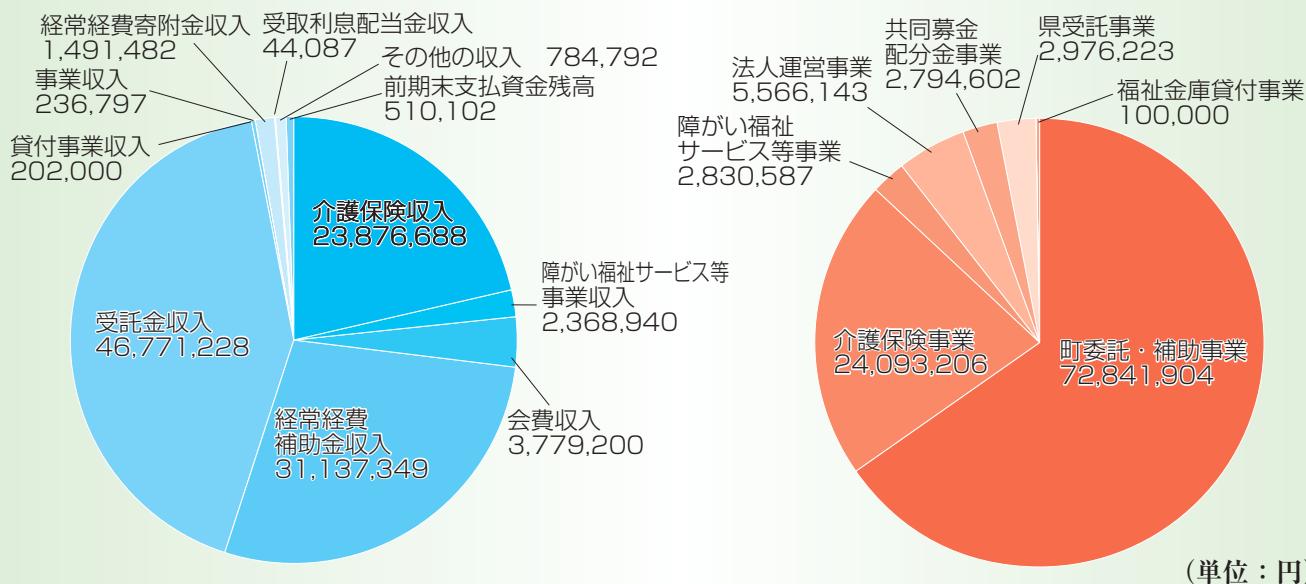
令和6年度 決 算

収入合計

111,202,665 円

支出合計

111,202,665 円



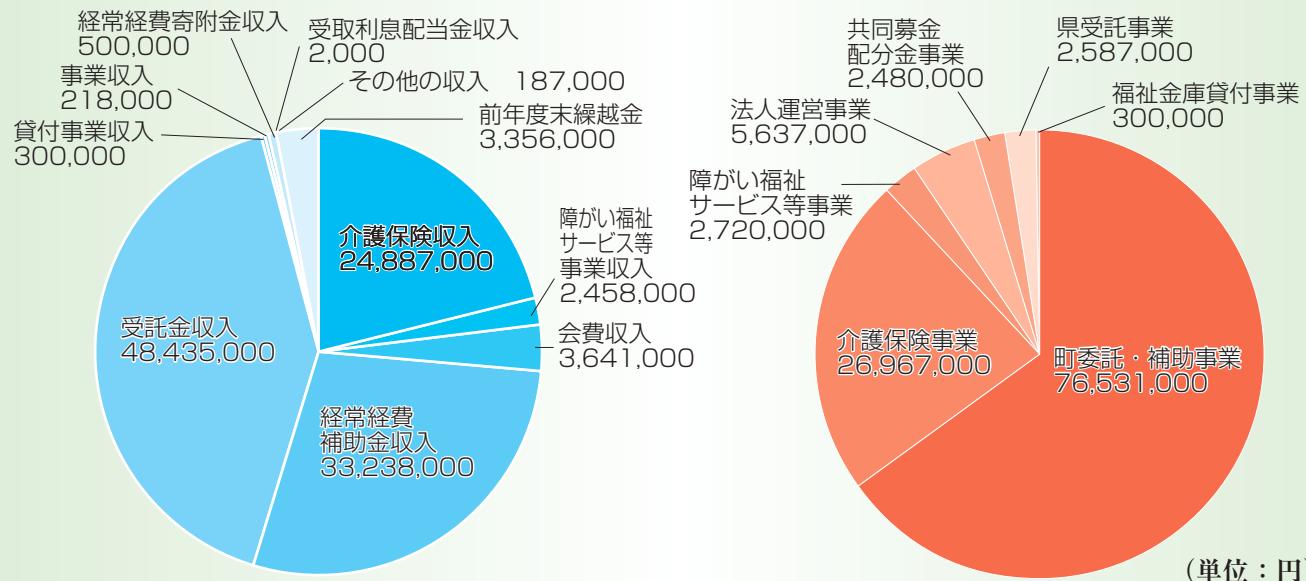
令和7年度 予 算

収入合計

117,222,000 円

支出合計

117,222,000 円



令和 7 年度 身延町社会福祉協議会 基本方針

令和6年1月1日に発生した能登半島地震及び9月21日から23日にかけて発生した奥能登豪雨災害と自然災害が続きました。身延町社協では2月と10月に職員を災害ボランティアセンターの運営支援のために派遣しました。また、11月には身延町総合文化会館駐車場をメイン会場として、その周辺で開催された山梨県地震防災訓練では、災害時ににおける社協の役割を再確認したところです。

身延町社協では、町の地域福祉計画における基本理念である「助け合い、心のふれあうひらかれた町をつくる」を地域福祉活動計画の基本方針とし、地域住民が自主的な活動ができるように推し進めます。社協は支援の在り方、各種団体・関連機関の連携、協働の在り方や役割をまとめ、地域のみなさんで支え合う福祉のまちづくりを進めてまいります。

令和7年度事業計画（抜粋）

事業推進体制及び 経営基盤の強化

住民のニーズに対応できるよう、事務局体制の充実強化を図るために、役職員による研修会や他団体の研修会に参加します。

また、事業及び経費の見直し、財源の確保等により、経営基盤の強化に努めます。

広聴広報活動の 充実・啓発活動の推進

「社協だより」「ボランティア情報誌（おでんでえ身延）」などにより地域福祉情報の提供に努めます。

さらに、ホームページ等を活用し、広く情報を発信します。

身延町社会福祉協議会 HP

<https://minobushakyo.jp/>

新しくなりました！



権利擁護事業及び 援護事業の充実

認知症高齢者や知的・精神障がい者の方々が自立した日常生活を安心して送れるよう日常生活自立支援事業により援助します。

また、生活困窮世帯の自立支援を目的に県社協と連携して、各種貸付制度の充実に努めます。



相談事業の充実

専門的見地による相談事業の環境を充実し、「弁護士による無料法律相談」を年12回（月1回）開催します。



ボランティア活動の推進と 社会参加の促進

地域での活動の場づくりを進め、ボランティア登録制度を充実させ、町内におけるボランティア活動が活発になるよう、組織の強化を図ります。

災害ボランティアセンターについては、設置運営訓練を開催し、住民の意識高揚を図ります。

共同募金事業の推進

共同募金に対する理解を深めながら募金活動に努めるとともに、配分金は地域福祉の推進に有効かつ適正に活用していきます。



町受託事業の充実

利用者や家族等の声に耳を傾け、より充実した事業が実施できるように努めます。また、事業の目的が達成されているかを検証し、継続的に業務改善に取り組みます。

- ・地域支え合い事業
- ・生きがい活動支援通所事業
- ・配食サービス事業
- ・ホームヘルプサービス事業
- ・養育支援訪問事業
- ・移動支援事業

ほか

在宅福祉・介護保険 事業の推進

町の包括支援センターと連携し、安定したサービスの提供に努めます。

また、介護保険事業の効率化と経営改善に取り組みます。



地域福祉事業の推進

地域福祉事業の推進のため、団体や小中学校への講師派遣や金銭助成、小地域福祉活動への助成金交付を行います。

また、さまざまな団体と連携して、地域福祉の課題を解決していくための事業を推進します。



福祉教育・講座を開催しました

6月20日（金）、身延中学校1年生を対象に福祉教育を開催しました。福祉や町の取り組みについて学ぶ座学のほか、車いす・白杖の体験を通じて、福祉の大切さを実感しました。

また、6月26日（木）には身延山大学の学生を対象にボランティア講座を実施しました。社会福祉協議会やボランティアセンターの役割について学び、身延福祉センター内の見学も行いました。

参加者それぞれが福祉への理解を深め、地域の支え手としての意識を育む機会となりました。



身延町 地域支え合い協議会

身延町では、第1層・第2層の協議会が連携し、地域づくりに取り組んでいます。

昨年度は協議会のPRとしてポスターを作成し、町内で掲示しました。下部地区では「便利帳」を各戸に配布しました。

今年度は、中富地区で「買い物外出ツアー」の開催を予定し、身延地区では「住みやすい地域とは何か」をテーマに活動を検討しています。

地域住民が主役となり、身延町をより住みよい場所にしていく取り組みが広がっています。



第2層地域支え合い協議会の全体会で活動PRのため意見を出し合いました。



町内に掲示したPRポスター

『地域支え合い協議会』は、地域住民等が連携して高齢者等の日常生活を支援するための仕組み（体制づくり）をつくることを目的としています。

【お問い合わせ先】

事務局・ボランティアセンター・身延生きがい広場・

居宅介護支援事業所・訪問介護事業所

身延町波木井 272-1 (身延福祉センター内)

☎0556-62-3773

下部生きがい広場

身延町常葉 1093 (下部保健福祉センター内)

☎0556-20-3023

社協ホームページがリニューアルしました。スマートフォン対応になりました。見やすくなっています。ぜひご覧ください。

町民の皆様からの ご意見をお待ちしています。

身延町社会福祉協議会では、事業の質の向上のため、町民の皆様からご意見を募集しています。

お気軽にご意見をお寄せください。

代表メール

minobushakyo@minobushakyo.jp



身延町社協

で検索